

## 通常議員総会

# 寄り添い支援とチームサポートの体制づくりを報告

通常議員総会で令和5年度の事業報告と収支決算が承認されました。

詳細は、舞鶴商工会議所のホームページをご覧ください。

## 事業報告 — 総括的概要 —

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し経済の正常化が進む中で、緩やかな景気回復が見られましたが、円安の進行やエネルギー価格の高騰、人手不足や最低賃金の引き上げなど、地域の事業者には厳しい状況が続きました。

そのような中、舞鶴商工会議所では、地域消費拡大のためのプレミアム商品券の発行やコロナ関連補助制度の対応を通して事業者に寄り添った支援をおこなったほか、「ちゃったまつり」を花火大会に特化し、東西地区

交互開催という形にリニューアルして開催しました。

また、様々な課題を抱える事業者を、行政や関係機関、金融機関とともにチームサポートする産業振興プラットフォームの構築に向けた体制づくりを進めました。

さらに、海洋分野とエネルギー分野の新たな産業基盤に関する政策提言に関して、CO2液化輸送実験や外国の艦船修理など市内事業所における新たな取り組みが進む中、提言のフォローアップとなる事業に取り組みました。

## 主な事業内容（抜粋）

### 1. 意見要望活動

自衛隊組織内の体制について検討が進められていることを受けて、本市における海上自衛隊の体制維持と防衛産業の基盤強化を市長・市議会議員・会頭の3者連名で国に要望した。また、事業者が原材料・エネルギー価格の高騰や慢性的な人手不足など様々な経営課題に直面していることから、10部会の意見要望を取りまとめ、知事と市長に要望活動を行った。

### 2. 地域活性化に関する事業

過去3年にわたるコロナ禍を経て、7月に「ちゃった花火大会2023」を開催。初めて西地区の埠頭にて実施し、市制施行80周年の記念行事として盛大に打ち上げた。また、引き続き「まいづる海自カレー」の取り組みを市内12店舗で実施。コロナ禍前の日常が戻る中で約20,000食を販売した。

### 3. 工業振興に関する事業

舞鶴工業集積協議会を通じて、新商品の研究開発と販路開拓を積極的に支援した。また、同協議会の会員企業4社が製作した、「万願寺とうがらし」を模したオブジェと企業紹介パネルを商工観光センター1階に展示し、市内事業者の取り組みを紹介した。さらに、ものづくり人材を養成する近畿能開大京都校の紹介パネルや機械・ロボット製作物を商工観光センター1階で展示した。

### 4. 商業振興に関する事業

「まいづる小売サービスプレミアム商品券2023発行

事業」を市から受託。物価高騰の影響を受けた生活者を支援するとともに、地域経済の消費を下支えし、地域商業の活性化に努めた。また、市内和洋菓子店の一押し商品を紹介・提供する「まいづるスイーツフェア」を開催し、新たな顧客の開拓や売上増加につなげた。

### 5. 港湾振興に関する事業

京都舞鶴港の「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」の運営協議会に参画し、西港における港を核としたまちづくりの促進に協力した。

### 6. 観光振興に関する事業

海上自衛隊第23航空隊、赤れんがパークなどで「艦隊これくしょん」を初めて開催し、全国から多くの人々が来場した。イベント後も市内の店舗が継続して著作権を活用したコラボ商品を販売することにより、全国から多くの人々が舞鶴を訪れている。

### 7. 中小企業振興に関する事業

「舞鶴市産業振興プラットフォーム」の創設を見据え、特別経営指導員を中心とした連携支援チームによる支援体制を構築し、行政や金融機関等、関係機関によるチームサポートで課題解決に向けて取り組んだ。また、商工観光センター1階に展示ブースを設け、事業所の魅力発信を支援した。さらに、国産水産物の消費拡大に向け、海上自衛隊や舞鶴市、水産業界団体と連携して、海上自衛隊が隊内で提供するメニューの開発に取り組んだ。